教科目名　都市景観学　（ Urban Landscape ）

専攻名・学年　：　機械・環境システム工学専攻　1 年　（教育プログラム　第 3 学年　○科目）
単位数など　：　選択　2 単位　（前期 1 コマ，授業時間 23.25 時間）
担当教員　：　亀野　辰三

授業の概要

本講義では，都市景観を対象に，特に生活圏における景観荒廃問題について解説する．美しい景観づくりには，まずわが国の景観問題の現状を認識することが必要である．そのために，本講義では現地のフィールドワークを通じて，より良い景観とは何かを考え，それをレポートにまとめ，皆の前で発表するプレゼンテーションを重視している．

なお，本科目は本科における「都市計画」の知識を前提としているので，「都市計画」を履修していない学生は宿題等を通じて自主的な学習が求められる．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(E1)，JABEE 目標(d2ａ)**

(1) 都市景観に関する基礎知識を理解できる．（定期試験）
(2) フィールドワークを通じて，景観デザイン上の問題を発見でき，解決の方策を提示できる．（レポート）
(3) 景観レポートでまとめた内容をプレゼンテーションでき，質疑応答ができる．（プレゼン）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	1 都市景観概説	○都市景観の基礎的知識について学ぶ．	【理解の度合い】
2	2 生活圏における景観荒廃 ①	○生活圏における景観荒廃問題について理解する．	
3	〃②		
4	〃③	○郊外景観の現状について理解する．	
5	3 景観法について①	○景観法の背景と意義，制度・内容について理解する．	
6	〃②		
7	4 現地調査	○フィールドワークを行い，景観の現状と問題点を理解できる．	
8			
9	5 プレゼンテーション①	○効果的なプレゼンテーションと質疑応答ができる．	
10	〃②		
11	6 景観評価の方法　①	○景観評価実験の結果から景観要素の重要度を重回帰分析によって求める方法を学ぶ．	
12	〃②		
13	7 景観管理		
14		○これからの景観管理の方法と主体について学ぶ．	
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	景観問題に興味を持つ学生の受講を望む．適宜プリントを配布するのでファイルを用意しておくこと．また，都市景観に関するレポートを課すので，日頃から身の周りの景観に関心を持つこと．	【総合達成度】
教科書	プリント使用	
参考図書	松原隆一郎，『失われた景観』，PHP 新書 石井一郎・岩立忠夫・亀野辰三他，「都市景観の環境デザイン」，森北出版	
自学上の注意	演習問題や宿題を多く課すので，学生は教科書，参考書，インターネット，図書館学習等を通じて自ら調べて提出すること．	
関連科目	交通システム工学，環境計画（C 科），都市計画（C 科），地域計画学，道路交通工学（C 科）	
総合評価	達成目標の(1)～(3)について定期試験とレポート及びプレゼンテーションで評価する． 総合評価＝0.6×定期試験の成績＋（0.2×プレゼン＋0.2×レポート） 総合評価が 60 点以上を合格とする． 再試験は，総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する．なお，再試験の受験資格は，レポートを提出した者で，かつ，定期試験の成績が 40 点以上の者に与える．	【総合評価】　　点